

丹波の百姓王子、東京で修業中！

婦木農場 長男 婦木敬介

百姓王子と勝手に名乗っている、婦木です。今年度から東京に新しくできた日本農業経営大学校に通っています。今年で21歳になる農家の長男です。

実家は兵庫県の丹波で代々農業を営んでいます。おもに米、野菜を作り、小さく酪農や養鶏、もちなどの加工までやっており、昔ながらの百姓家族ではないかなと思っています。幼い頃から、嫌々手伝っていましたが、長男ということもあり、家を継ごうと子供ながらに思っていました。農業高校に進学し、実家以外の農業を初めて体験しました。養鶏部を専攻し、鶏の解体作業を覚えられたのがその後とても役に立ち、うれしかったです。3年間の学びの中で、有機農業に関心を持ち、もっと体で体験したかったので、卒業後は埼玉県小川町の有機農家、金子美登さんの霜里農場へ研修に入りました。

霜里農場には、私以外にも研修生が数人いて、とても楽しい1年間でした。野菜が季節ごとに移り変わるのをそばで見ることができて、農業に初めて面白さも感じました。料理にも挑戦するようになると、畑に出たときに、「これはどう料理したら、おいしいだろう？」と考えるようになり、農作業がさらに楽しくなったと同時に、農業が暮らしを支えている、ということを実感させられました。

次は半年間、静岡県掛川市の柴田牧場で研修です。そこでは、ホルスタイン種とともに、ジャージー種を飼っていました。ジャージーの乳は、自前の施設で殺菌処理をして瓶詰めし、市内に配達していました。直売所もあり、ソフトクリームがすごくおいしかったです。この牧場はいわゆる“6次産業化”を実践していて、これからの農業のあり方を考える上で、

とても勉強になりました。

そんな研修を積む中で様々な出会いがあり、日本農業経営大学校の1期生として入学することになりました。決め手は「東京に行ける」ということです(笑)。農業を志す仲間が日本全国にできるのも魅力的だと思いました。

この4月に入学して約1か月。寮生活をしながら、勉強も遊びも楽しんでいます。集まった20人の仲間は、農家：非農家が2：1くらいで社会人経験者も多いですが、みんな農業に熱く、話していてとても楽しいです。授業では、経営学などの講義はもちろん、実際の農業経営者の方のお話も聞けます。私にとっては、この授業が一番勉強になります。

先日の休みの日に、築地市場に行きました。親切なおじさんが案内してくれたのですが、その広さといったら…！！これが世界の築地なのかと圧倒させられました。お寿司も食べることができ、「本物の味」に、ものすごく感動しました。この2年間で、自分を見つめ直し、実家の経営をよく考えてみたいと思います。そのためにも、もっといろんなところへ足を運び、見聞を広めたいです。

卒業後は、実家の牛の乳でチーズを作ったり、体験農園などでお客さんを集めたりできたら面白いなあと、今は考えています。また、これからはインターネットを活用できたらいいと思います。私の実家もホームページができ、ブログも始めています。私の学生生活も分かるのでぜひご覧ください。これから2年間、最高の仲間とともに、10年後の日本と世界の農業のために、しっかりと学んでいきます。皆様の応援、よろしく願います。

婦木農場 <http://www.fukifarm.com/>

(ふき けいすけ)